

実践報告

札幌市立前田北小学校

(1) 研究内容

研究課題：「性に関する学習の研究」

- 命の大切さを様々な視点から学び、中学生に向けて互いを大切にする心や態度を培う。
- 性に関する諸問題に対して、適切に意志決定し、行動選択できる力を身に付ける。

(2) 実践の内容

【実践】6年総合「命のかがやき」の授業

○ ねらい

- ・ 命の大切さを様々な視点から学び、中学生に向けて互いを大切にする心や態度を培う。
- ・ 性に関する諸問題に対して、適切に意志決定し、行動選択できる力を身に付ける。

○ 学習内容

性に関する問題は互いを大切にする事、命の大切さを学ぶことにつながっている。そこで、この単元では命の大切さを学ぶ中で、性に関する諸問題や人権について考えを深める授業を構築した。

①命の大切さとは何かを互いに考える

1時間目の導入では「命」をどのように捉えるかについて話し合い、どのようにすれば大切にすることができるのかについて考えた。その中で様々な差別(人種・宗教・年齢など)の中から LGBT や性差について取り上げ、今の自分にできることは何かについて考えた。子どもたちからは自分が経験したこと(男だから…、女だから…など)を出し合い、学校生活の中で性差にこだわらず、一人の人間として互いを尊重することが大切だということを感じていた。

②互いを大切にする行動の仕方を考え、学ぶ

2時間目は性差に関係なく互いに尊重するよさを感じられるように、グループエンカウンターの手法を用いて授業を行った。ゲームを通して子どもたちは人と関わるよさや、どのようにお互いに関わり合うとよいかなどを体験的に学ぶことができた。

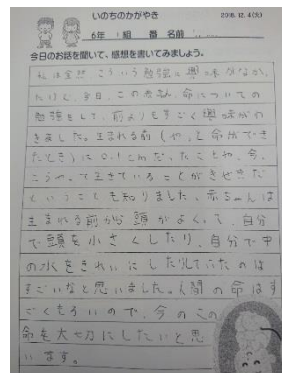
特に、問題解決を伴うゲームでは、男女関係なくみんなで意見を言いながら課題を解決していくことで、解決できた時の達成感をみんなで共有し、互いを大切にしながら協力するよさを、身をもって体験することができた。

さらに3時間目に漢字を使ったグループによる脱出ゲームに取り組むことで学習の中で協力することで得られる達成感も味わうことができた。

③助産師による命を伝える出前授業

助産師に来校していただき、お話をしていただいた。ビデオで出産の様子を見ながら親の気持ちについての話を聞いたり、赤ちゃん人形を実際に抱いてその重さを感じたりすることで、生まれてくる命の重さを実感した。

子どもからは「人間の命はすごくもろいので、この命を大切にしたいと思う。」「生んでくれたお母さんに感謝したい。」「命は奇跡でできていることが分かった。一人一人を大切にしたいと思った。」などの感想を聞くことができた。



④自分の考えを発信し、これからの行動につなげる（まとめ）

三つの実践を通して子どもたちが感じた「命の大切さ」を自分なりの思いをもって発信するため、ポスターの形でまとめることにした。

それぞれ思い思いの表現方法で、「命の大切さ」や「人を思いやる心」「いじめを止める勇気」など自分が大切にしたいことをまとめていた。

このポスターを掲示し保護者、他学年への発信を行った。

今回の授業を通して命の大切さだけでなく、周りの人のことを考えることの大切さを学ぶことができたと感じている子もいた。



(3) 研究のまとめ

① 成果

- 今回の授業を通して子どもたちが「命の大切さ」を考える機会を得ることができた。「命は大切だ」というだけでなく、子ども自身がどのように行動することが大切かを学ぶことができた。
- 総合的な学習の時間を中心に活動をまとめることで、今まで断片的に取り組んでいた性に関する指導、人権に関する教育、命を大切にする教育を大きなくくりで構成することができた。

② 課題

- 今回は昨年度のものに新しい活動を付加して取組を行ったが、子どもたちの意識を十分に变えることができたとは言い難い。次年度は幼児と交流する活動を取り入れることで、より命や性というものを身近に捉えて考えられるようにしていきたい。